

要望書（回答）

1. 米軍所属のオスプレイに対しどのような安全対策が行われたのか、事故が繰り返されることはないかと確証できるのか、北海道防衛局に対しあらためて説明を求めること。

【回答】

米国防省では、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないことや様々な任務における運用手順の確認、搭乗員に対する教育・訓練内容の追加、機体点検などを継続的に行うことにより、飛行の安全が確保できることを確認しており、防衛省としても飛行に問題があるとは考えていないと伺っております。

市といたしましては、千歳基地の使用にあたっては、オスプレイ等の点検整備など、国の責任において徹底した安全対策を講じるとともに、事故防止に万全を期すことを申し入れております。

2. 「Keen Sword 23」の実施に当たり、米軍所属のオスプレイおよびその他米軍機の苦小牧上空の飛行予定を明らかにさせることを北海道防衛局に求め、市街地上空の飛行及び低空飛行と深夜・早朝の飛行を行わせないように申し入れ、その内容をすみやかに苦小牧市民に公表すること。

【回答】

オスプレイ等の飛行情報につきましては、可能な限り早期に情報提供するよう北海道防衛局に申し入れており、情報が得られた際には、市ホームページで随時お知らせするなど、いち早い情報収集、情報提供に努めてまいります。

また、市街地上空飛行や低空飛行を避けるなど、騒音の低減に配慮した飛行を求めるほか、土日及び深夜早朝の飛行を避けることなどを申し入れております。

3. 飛行予定がないもしくは明らかにされない中で、オスプレイの飛行が市民などにより目撃された場合は、市としてその事実の把握・確認に努め、明確になり次第すみやかに市民に公表するとともに、米軍および関係機関に対し強く抗議を行うこと。

【回答】

千歳基地周辺におけるオスプレイの飛行に際しては、安全面の確保が大前提であり、国の責任による徹底した安全対策のほか、市街地上空飛行を避けることなどを求めています。

市といたしましては、飛行情報が得られた際には、市ホームページで公表するとともに、市街地上空飛行を把握した場合には、関係機関に申し入れを行うなど対応して

団体名：米軍戦闘機の訓練移転反対苫小牧実行委員会

回答日：令和4年11月4日

まいります。

4. 米軍との訓練に関連し事故等が発生した場合、直ちに市民に公表し、対策・対応を速やかに行うこと。

【回答】

事故等が発生した場合につきましては、北海道防衛局に対し、事故等の詳細や対策について早急に情報提供するよう求め、得られた情報については市ホームページで公表するとともに、関係機関と密接に連携を図り、市民の安全・安心のため速やかに対応してまいります。

なお、訓練期間中は北海道防衛局職員が千歳基地内に常駐し、訓練状況の把握や不測の事態への対応を行うことを確認しております。

回答：総合政策部空港政策課